

デジタル改革によるDX造船所の実現

基本情報

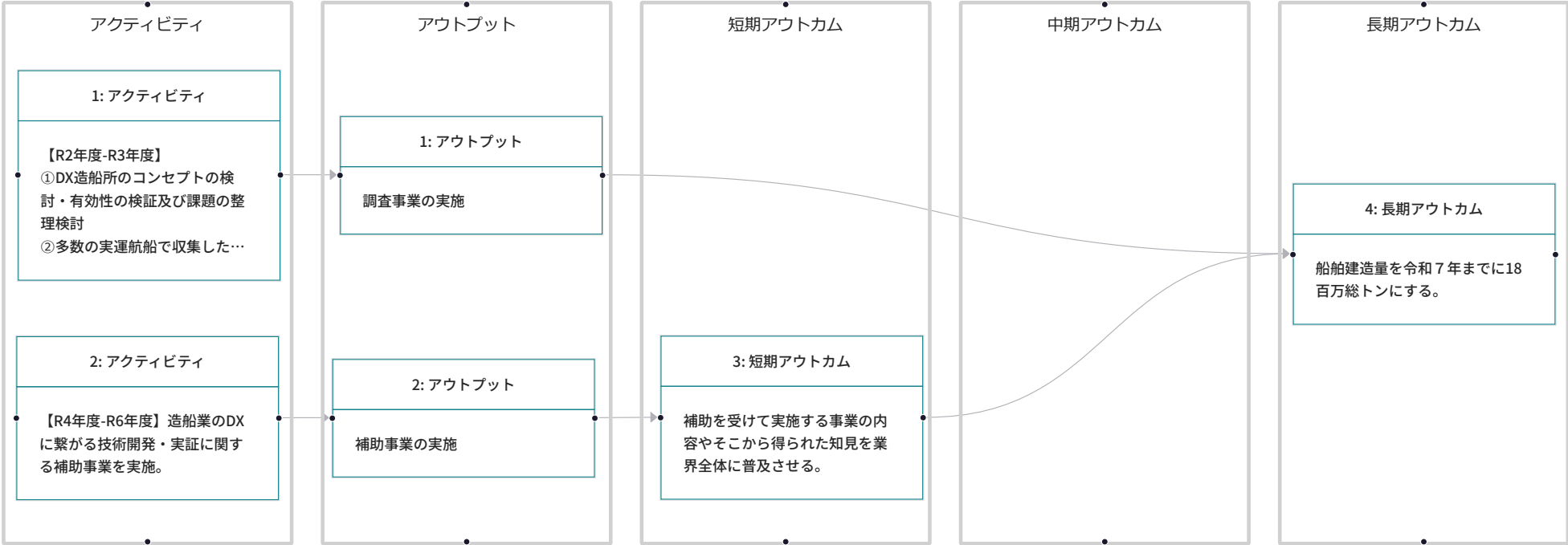
組織情報	府省庁	国土交通省				
	事業所管課室	国土交通省 海事局 船舶産業課				
	作成責任者	田村顕洋				
	その他担当組織	--				
基本情報	予算事業ID	004446	事業開始年度	2020	事業終了（予定）年度	2025
	事業年度	2024		事業区分	前年度事業	
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL
	国土交通省	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護		3 6 海事産業の市場環境整備・活性化及び人材の確保等を図る		--
関連事業	--			主要経費	科学技術振興費	
概要・目的	事業の目的	我が国造船業の生産性向上を図り、国際競争力を強化する。				
	現状・課題	我が国の海上輸送を担う船舶の多くは国内で建造されており、造船業は船舶を供給することで我が国の海上輸送を支えている。造船業においては中国・韓国が船舶建造量及びシェアを伸ばす一方で、近年、我が国の船舶建造量及びシェアが減少している。我が国造船業が安定的に船舶を供給するためには、デジタル技術の導入によって造船所の生産性を向上させ、国際競争力を強化することが必要である。				
	事業の概要	造船所へのデジタル技術の導入に必要な技術開発及び実証に要する費用の一部を国が補助する。さらに、補助を受けた事業者から他の事業者に成果を周知させることにより、業界全体への普及を図る。				
	事業概要URL	--				
根拠法令	法令名	法令番号		条	項	号・号の細分
	--	--		--	--	--
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL				
	経済財政運営と改革の基本方針2023	https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/honebuto/2023/decision0616.html				
補助率	補助対象	補助率	補助上限等		補助率URL	
	造船事業者等	1/2以内	--		--	
実施方法	補助					
備考	--					

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2021	2022	2023	2024	2025	
	要求額		--	199,800	249,800	151,000	--	
	当初予算		0	150,000	103,000	--	--	
	補正予算		--	53,000	90,000	--	--	
	前年度から繰越し		100,000	--	168,000	128,591	--	
	予備費等		--	--	--	--	--	
	計		100,000	203,000	361,000	128,591	0	
	執行額		100,000	26,000	212,747	--	--	
	執行率		100%	12.8%	58.9%	--	--	
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額		備考		
	一般会計	一般会計	--	--		--		
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額
		前年度から繰越し			--		128,591	--
		--						
主な増減理由	-- <th>その他特記事項</th> <td colspan="3">--</td>			その他特記事項	--			

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 1-1-4

アクティビティ	【R2年度-R3年度】 ①DX造船所のコンセプトの検討・有効性の検証及び課題の整理検討 ②多数の実運航船で収集した運航情報について、造船所と適切にデータ連携を行うコンセプトの検討・有効性の検証及び課題の整理検討					
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	調査事業の実施		活動指標	調査事業に参加した造船事業者数及び船用工業事業者数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	アクティビティである調査事業が、最終目標である我が国造船業の船舶建造量の向上に直接結びつくため。	
活動・成果目標と実績		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
	当初見込み／目標値(社)	1	1	0	0	
	活動実績／成果実績(社)	2	0	0	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	生産性向上等による造船業の国際競争力の向上を測る指標として船舶建造量が適しているため、船舶建造量を長期アウトカムとして設定した。					
長期アウトカム	成果目標	船舶建造量を令和 7 年までに18百万総トンにする。		成果指標	我が国造船業の船舶建造量	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名（出典）	IHS Markitが発行している造船業に係るデータ	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	アクティビティである調査事業が、最終目標である我が国造船業の船舶建造量の向上に直接結びつくため。	
活動・成果目標と実績		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	最終目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(百万総トン)	--	--	--	--	18
	活動実績／成果実績(百万総トン)	11	10	10	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--

アクティビティからの発現経路 2-2-3-4

アクティビティ	【R4年度-R6年度】造船業のDXに繋がる技術開発・実証に関する補助事業を実施。			
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	補助事業の実施	活動指標	補助事業に参加した造船事業者等の数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度
	当初見込み／目標値(社)	6	6	7
	活動実績／成果実績(社)	6	5	--
 後続アウトカムへのつながり	補助を受けて実施する事業の内容やそこから得られた知見は広く共有して、造船業界全体でデジタルトランスフォーメーション（DX）を推し進める必要がある。そのために必要な事業内容の周知件数を短期アウトカムと設定した。			
短期アウトカム	成果目標	補助を受けて実施する事業の内容やそこから得られた知見を業界全体に普及させる。	成果指標	造船事業者等が実施した補助事業の成果についての業界全体への周知件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名（出典）	造船事業者を広く集めて実施する補助事業の報告会（セミナー）における周知件数
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	目標年度 2024年度
	当初見込み／目標値(件)	6	5	7
	活動実績／成果実績(件)	6	--	--
	達成率(%)	100	--	--
 後続アウトカムへのつながり	生産性向上等による造船業の国際競争力の向上を測る指標として船舶建造量が適しているため、船舶建造量を長期アウトカムとして設定した。			

長期アウトカム	成果目標	船舶建造量を令和 7 年までに18百万総トンにする。		成果指標	我が国造船業の船舶建造量	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名（出典）	IHS Markitが発行している造船業に係るデータ	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	最終目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(百万総トン)	--	--	--	--	18
	活動実績／成果実績(百万総トン)	11	10	10	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--
事業に関連するKPI が定められている 閣議決定等	名前	--				
	URL	--				
	該当箇所	--				

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	業界の動向・ニーズ等を踏まえ、実効性を高めるため、補助事業の公募・評価・選定に関する手続きを精査し、予算を効率的に執行した。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	引き続き補助事業の公募・評価・選定に関する手続きの点検・見直しを行い、より効率的な執行に努める。		
外部有識者による点検	点検対象	--	最終実施年度	--
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	--	詳細	--
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	--		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	--		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			

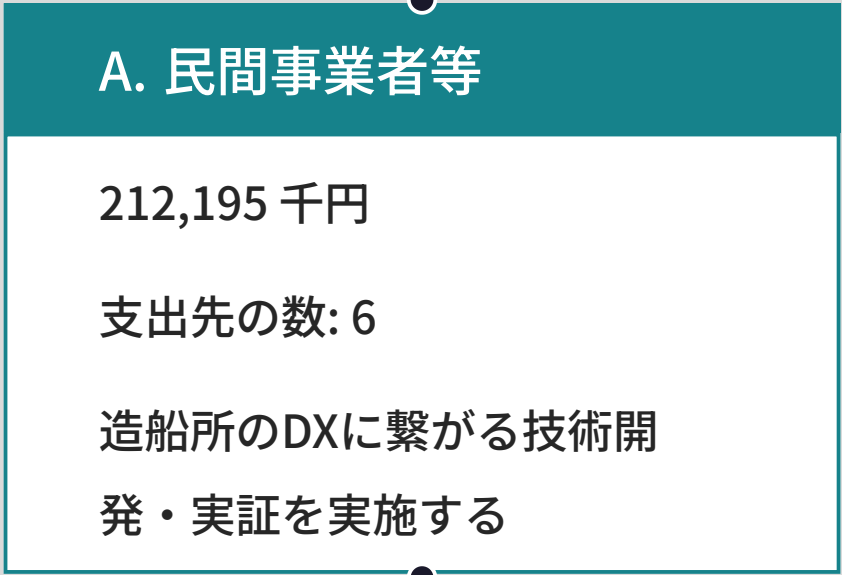


間接経費: 552 千円

1. 諸謝金: 146 千円

2. 委員等旅費: 96 千円

3. 職員旅費: 310 千円



支出先上位者リスト ト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	A	民間事業者等	212,195	6	造船所のDXに繋がる技術開発・実証を実施する		
	支出先名		支出額	法人番号			
	株式会社新来島どっく		50,000	1010001045595			
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札・随契理由	
	工場の見える化の実現に向けたシステム構築事業補助金等交付		50,000	--	--	--	
	支出先名		支出額	法人番号			
	住友重機械マリンエンジニアリング株式会社		49,800	3010701014501			
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札・随契理由	
	風力とビッグデータ用いた省エネ運航基盤の開発補助金等交付		49,800	--	--	--	
	支出先名		支出額	法人番号			
	ジャパンマリンユナイテッド株式会社		38,115	8020001076641			
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札・随契理由	
	造船工程の作業計画支援システムの開発と実証事業補助金等交付		38,115	--	--	--	
	支出先名		支出額	法人番号			
	川崎重工業株式会社		35,547	1140001005719			
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札・随契理由	
個別作業向け生産情報のデジタル配信実現に向けたBOM/BOPを用いた3D情報共有プラットフォームの開発補助金等交付		27,057	--	--	--		
生産性向上を高度な建造工程計画で実現するためのBOM/BOPデータ連携に基づく製造実行システムの開発補助金等交付		8,490	--	--	--		
支出先名		支出額	法人番号				

		日本シップヤード株式会社 一般財団法人日本海事協会 N A P A J a p a n株式会社		27,560	--		
		契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札・随契理由
		設計リードタイム短縮を目的とした構造強度解析自動評価システムの構築 補助金等交付		27,560	--	--	--
		支出先名		支出額	法人番号		
		浅川造船株式会社		11,173	2500001011068		
		契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札・随契理由
		安定した生産性の実現に向けた定盤計画並びに工程計画最適化の技術開発及びリアルタイム進捗管理の実証事業 補助金等交付		11,173	--	--	--
費目・使途 （単位：千円）		支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途		金額
	A	株式会社新来島どっく	工場の見える化の実現に向けたシステム構築事業	外注費	システム開発費等		47,739
	--	--	--	プログラム取得費	ソフトウェア取得費等		1,198
	--	--	--	直接人件費	工員等人件費		951
	--	--	--	その他	出張旅費		112
国庫債務負担行為 等による契約先リスト （単位：千円）		契約先名		契約額	法人番号		
		--		--	--		

その他備考

--
